

専門分野				
文学				
研究課題				
児童文学/日本文学				
教育活動				
担当授業科目(学部)				
日本の児童文学/日本児童文学講読/LA 入門Ⅱ(児童文学・子ども文化)/児童文学史/児童文学資料研究/近代文学講読D/専門基礎演習Ⅰ・Ⅱ/専門応用演習/卒業研究/大学基礎講座/日本語表現技法/FS(児童文学・子ども文化)/小論文の書き方				
担当授業科目(大学院)				
事項	年月	対象者	概要	
教育方法の実践例				
児童文学資料研究	平成 28 年 4 月～7 月	リベラルアーツ学科学生	明治・大正時代の児童雑誌の復刻版または原本を受講生が実際に手にし、内容を詳細に分析した。	
作成した教材・資料集				
その他教育活動上特記すべき事項				
生涯学習センター・コミュニケイカレッジ講座「教養は人生を豊かにする」	平成 27 年 11 月 1 日	一般	全 5 回の内、5 回目(11/25)を担当。「明治・大正時代の児童文学——少年たちに求めたこと・少年たちが求めたこと——」というタイトルで、少年小説の変遷を概観した。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前、曲名、担当頁、概要など
著書・訳書・CD 等				
学術論文				
有本芳水の少年詩(六)——『悲しき笛』の長詩	単	平成 25 年 2 月	『児童詩歌』第 9 号、白百合女子大学児童文化研究センター近現代児童詩歌研究プロジェクト	有本芳水の少年詩集『悲しき笛』に収められた長詩について、これまでの芳水作品に見られなかった傾向があるものの、全体的に感情表現において硬直化が見られるという考察をした。
北田薄氷作品に関する一考察——我意を貫こうとする女性たちを中心に——	単	平成 25 年 12 月	『帝塚山学院大学研究論集(リベラルアーツ学部)』第 48 集、帝塚山学院大学	明治時代の女性作家・北田薄氷の作品には忍従する女性たちが多く登場する一方、自分の意志を通そうとする女性たちも描かれている。薄氷の経歴と照らし合わせながら、その女性像について考察した。
有本芳水の少年詩(七)——『海の国』の少年詩	単	平成 26 年 2 月	『児童詩歌』第 10 号、白百合女子大学児童文化研究センター近現代児童詩歌研究プロジェクト	有本芳水の少年詩集『海の国』に収められた少年詩について、「旅」「恋人」「家族」といった題材別に考察した。
泉鏡花「金時計」論	単	平成 26 年 12 月	『帝塚山学院大学研究論集(リベラルアーツ学部)』第 49 集、帝塚山学院大学	泉鏡花の児童文学作品「金時計」について、執筆当時の社会状況が注目されがちな作品であるが、その中に後の鏡花世界に通ずる要素が見られることを述べた。

有本芳水の少年詩(八)——『海の国』の童謡	単	平成 27 年 2 月	『児童詩歌』第 11 号、白百合女子大学児童文化研究センター近現代児童詩歌研究プロジェクト	有本芳水の少年詩集『海の国』に収められた童謡について、大正 10 年前後の童謡をめぐる状況を踏まえて考察した。
有本芳水の少年詩(九)——『海の国』の短歌	単	平成 28 年 2 月	『児童詩歌』第 12 号、白百合女子大学児童文化研究センター近現代児童詩歌研究プロジェクト	大正時代に雑誌『日本少年』主筆として活躍し、少年詩の分野で人気を博した有本芳水の短歌について考察した。少年詩とは異なり、短歌では実生活に基づく感慨や旅情を詠ったものが多く、芳水は短歌と少年詩の二つのスタイルで何を詠うかを分けていたことが明らかになった。
調和の文学——庄野英二『こどものデッキ』より——	単	平成 28 年 12 月	『帝塚山学院大学研究論集(リベラルアーツ学部)』第 51 集、帝塚山学院大学	庄野英二の第一童話集『こどものデッキ』で用いられた手法を「戦争」「語らないということ」「動物」「子ども」の四つの観点から分析し、そこに調和を希求する庄野の意思が込められていることを明らかにした。
有本芳水の少年詩(一〇)——投稿詩から『芳水詩集』へ——	単	平成 29 年 2 月	『児童詩歌』第 13 号、白百合女子大学児童文化研究センター近現代児童詩歌研究プロジェクト	有本芳水が学生時代に『文庫』『詩人』『新声』といった雑誌に投稿した詩が、後に少年詩集『芳水詩集』に改作して収録されたことを明らかにした。そこから、芳水の少年詩に対する姿勢を分析した。
庄野英二と坪田譲治——雑誌『びわの実学校』を中心に	単	平成 29 年 3 月	『帝塚山派文学学会紀要』創刊号、帝塚山学院	庄野英二の児童文学界における功績を、師・坪田譲治と坪田が主宰する同人誌『びわの実学校』との関係を中心に論じた。
<b>学会発表</b>				
庄野英二と雑誌『びわの実学校』	単	平成 28 年 12 月	帝塚山派文学学会 第三回研究会(12 月 4 日、於・帝塚山学院帝塚山同窓会ホール)	庄野英二の児童文学者としての功績を雑誌『びわの実学校』での仕事から概観した。
<b>演奏会・発表会</b>				
<b>その他の研究発表、演奏</b>				
<b>その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)</b>				
杉山平一・花森安治 略歴	単	平成 29 年 3 月	帝塚山学院文化フォーラム「杉山平一と花森安治」展 パンフレット(3 月 22 日～31 日、於・帝塚山学院同窓生顕彰記念ホール)	杉山平一と花森安治の略歴を担当した。
<b>研究助成金の受給状況</b>				
<b>科研費の採択</b>				
<b>研究タイトル</b>	<b>助成金タイトル、支給元</b>		<b>研究代表者・分担者の区別</b>	
	<b>支給額</b>		<b>支給年度</b>	
<b>その他の外部資金による活動</b>				
<b>研究タイトル</b>	<b>助成金タイトル、支給元</b>		<b>研究代表者・分担者の区別</b>	
	<b>支給額</b>		<b>支給年度</b>	

その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
<b>学内委員等</b>				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
平成 25 年 4 月～平成 27 年 3 月	オープンキャンパス委員			
平成 25 年 4 月～平成 27 年 3 月	AO入試委員			
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	図書館運営委員			
平成 25 年 4 月～	入試作問・採点担当(国語)			
平成 27 年 4 月～平成 29 年 3 月	AO入試運営委員			
平成 27 年 9 月～	センター入試委員			
平成 27 年 4 月～	オープンキャンパス運営委員			
平成 27 年 4 月～平成 29 年 3 月	入試広報委員			
平成 27 年 4 月～平成 29 年 3 月	高大連携委員			
<b>社会活動</b>				
<b>学会役員</b>				
就任期間	学会役員名			
平成 28 年 9 月～	日本児童文学学会 会計監査			
<b>公開講座</b>				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
<b>学外機関委員等</b>				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項				
<b>海外での活動</b>				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		